

第11回ARRN(アジア河川・流域再生ネットワーク)国際フォーラム

企画グループ／日本河川・流域再生ネットワーク事務局 小野寺 翔

2014年10月29日(水)、欧州河川再生センター(ECRR)とARRNの技術交流会を兼ねた『第11回ARRN国際フォーラム』がオーストリアのウィーンにて開催されました。

ARRNは、アジア諸国における河川再生に関する情報交換を目的とした組織であり、ECRRは、欧州の河川再生推進を目的に活動する組織です。

ARRNは、参加国それぞれの水辺・流域再生に関する最新情報や課題等の発表を通じ、技術の共有・向上を図ることを目的に、国際フォーラムを毎年開催しています。今回は、ECRRとARRNの交流行事も兼ね、第6回欧州河川再生会議(<http://www.errc2014.eu/>)に合わせ、本フォーラムを開催する運びとなりました。

フォーラムの前半では、ARRNメンバー国(中国・韓国・日本)による各国の河川再生の取組み紹介、ERRCによる欧州の河川再生の取組み紹介、国際河川財団による国際河川賞と欧州河川賞に関する取組み紹介が行われ、交流会の後半では、「今後のECRRとARRNの協働」をテーマに、会場全体での討議が行われました。

全体討議では、欧州とアジアでは地理的・社会的に河川再生の背景や状況は異なるものの、定期的に情報を交換し、確実につながりを維持していくことが大切であるとの結論となり、河川再生に関わるARRNとECRRの更なる交流に向けたMOU(覚書)が取り交わされ、ARRNのLiu会長とECRRのBart会長による署名式が執り行われました。



JRRNによる講演の様子

第11回ARRN国際フォーラム

- (1)日時：2014年10月29日(水) 17:30～19:30
- (2)場所：Tech Gate Vienna (オーストリア・ウィーン)
- (3)主催：ヨーロッパ河川再生センター (ECRR)
アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)
- (4)プログラム：

-17:30-17:45 Dr. Tong Chang
(中国 CRRN・Beijing Runheng Ecological Environment Improvement Co.)

講演題目：生態系保全に基づく Nanxi 川における環境流量に関わる研究
(Research on ecological flow of Nanxi River based on ecological conservation objective)

-17:45-18:00 Prof. Jang, Suk-Hwan
(韓国 KRRN・Darjin 大学)

講演題目：KRRNの主要な活動と河川再生の研究
(Major Activities and Research on River Restoration of KRRN)

-18:00-18:15 土屋信行・小野寺翔

(日本 JRRN・公益財団法人リバーフロント研究所)

講演題目：日本の河川再生とJRRNの役割
(River Restoration in Japan and role of Japan River Restoration Network)

-18:15-18:35 Mr. Bart Fokkens (欧州河川再生センター)

講演題目：欧州の河川再生とECRR
(River Restoration in Europe and the ECRR)

-18:35-18:55 Mr. Nick Schofield (国際河川財団)

講演題目：国際河川賞と欧州河川賞
(Thiess International Riverprize and the European Riverprize)

-18:55-19:20 ECRRとARRNの協働に向けた討議

-19:20-19:30 ECRR-ARRN連携協定(MOU)締結式

なお、本フォーラムの各講演資料は以下のホームページよりダウンロードできます。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/296>

また、本フォーラムについては、JRRN ニュースレター 2014年11月号でも詳しくご紹介しております。

※ JRRN Newsletter vol.89 (2014年11月号)

http://jp.a-rr.net/jp/activity/newsletter/files/2014/11/Newsletter_vol89_201411.pdf